

第

部

2

基本構想

第1章 鬼北町の将来像

本町は、鬼ヶ城山系や成川溪谷など豊かな自然に恵まれた町です。その自然が、ここに暮らす心豊かな人々を育み、伊予神楽をはじめとする地域固有の伝統文化を生み出した。また、基幹産業である農林業をはじめとする産業が、経済的な豊かさをもたらしてきました。

先人から受け継いだこれら有形無形の財産は町民の誇りであり、さらに発展させて次世代へと継承していくべきものです。そのために、町民一人一人がふるさとに対する思いを共有し、目指すべき将来像に向かって主体的に行動していくことが求められます。

私たちは、この美しい自然との調和を図りながら、ここに住む人も訪れる人も心が安らぎ、活力に満ちた豊かな暮らしを実現できる町を目指します。そして、まちづくりの主角は町民一人一人であり、行政と町民がともに力を合わせて理想とする将来像に向かって行動していくことが重要です。

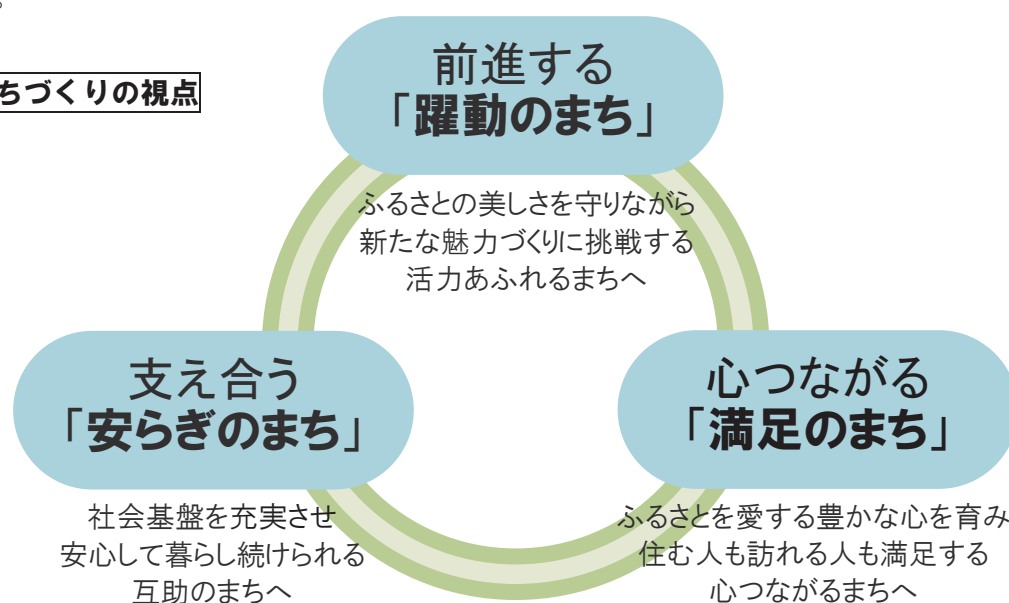
自然環境と人、そこから生まれる産業が、相互に作用しながらさらなる発展を遂げる、そんな本町の将来像を次のように設定します。

鬼北町の将来像

自然豊かな 心豊かな 暮らし豊かなまち きほく

このまちの将来の姿と、将来像を実現するための3つの視点を、次のように表現します。

まちづくりの視点



第2章 まちづくりのフレーム

将来人口

平成 27 (2015) 年の国勢調査によると、本町の人口は 10,705 人であり、人口ビジョン策定時の推計よりも少ない値となり、人口減少が予測よりも早く進んでいることがわかります。また、「鬼北町人口ビジョン・総合戦略」(平成 28 (2016) 年 3 月) の目標人口(独自)と比較すると、本計画が終了する令和 7 (2025) 年では 629 人、令和 22 (2040) 年では 1,292 人、令和 42 (2060) 年では 2,030 人、少なくなることが予測されています。



※前回目標値：鬼北町人口ビジョン(平成 28 年 3 月) 独自推計「独自(出生率上昇+流出抑制)」

※今回推計：国勢調査(平成 27 年)をもとにした「国立社会保障・人口問題研究所」のデータにもとづく推計値

一方で、ニュータウン鬼北の里の分譲や、道路網の整備などにより、宇和島市のベッドタウンとしての役割が増しています。また、近年の働き方改革やデジタル化の推進により、地方への移住の需要が高まっています。安全・安心で活気のあるまちづくり、子育て支援策の充実や雇用の創出と確保などにより、定住人口の減少を抑制し、出生率を高めることで、人口減少のスピードを緩めることが求められます。

将来人口については、現状を踏まえ、前回策定時と同様の考え※にもとづき、本計画の実施期間最終年度である5年後の令和7（2025）年度の目標人口を、以下のように設定します。

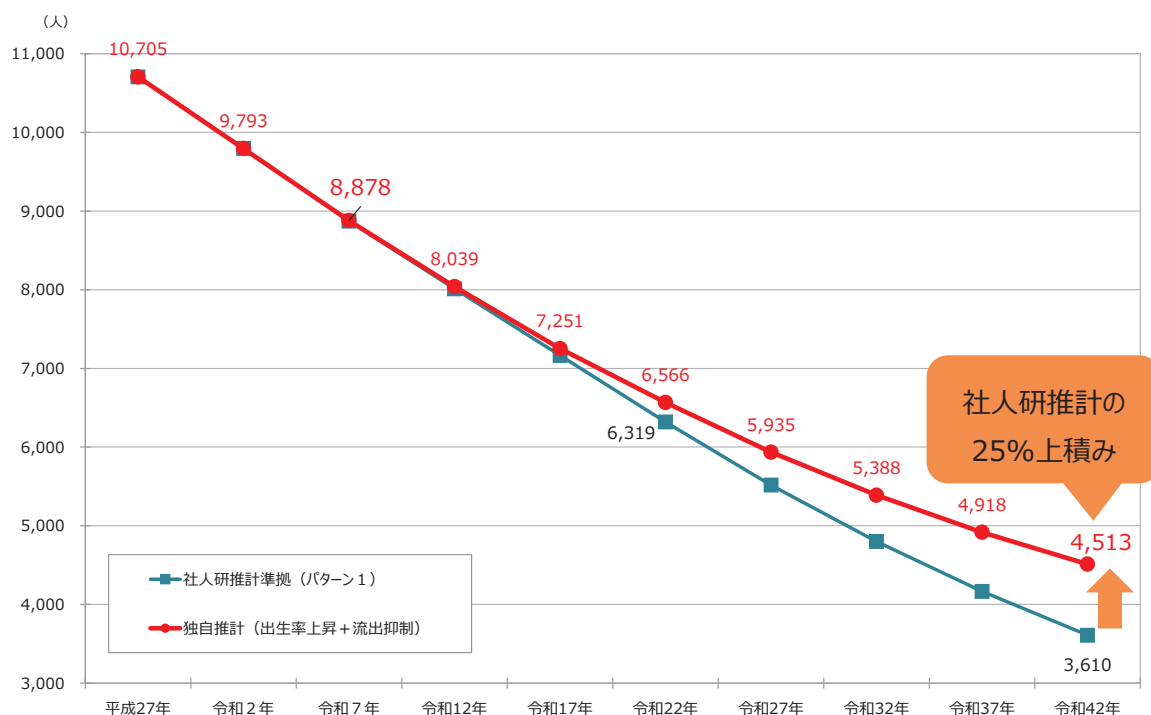
※参考：愛媛県人口ビジョンにおける愛媛県の目標：

令和42（2060）年の人口推計値（81.4万人）よりも最低25%（20万人）以上の上積みを目指す。

鬼北町の令和42（2060）年の人口推計値（国立社会保障・人口問題研究所）＝3,610人
（25%上積み）↓

4,513人

将来人口 8,878人（令和7年度）



第3章 地域の魅力づくり

豊かな自然環境は、本町の誇りであり、大きな財産です。それを守り育てつつ、快適で利便性に富み、活気に満ちた町民の生活空間を確保するとともに、町外から訪れる人にも楽しく滞在してもらえよう、地域の魅力づくりを進めていきます。

また、全国で唯一自治体名に「鬼」という字が付く本町ならではの、オンリーワンの取組として「鬼のまちづくり」を推進していきます。

にぎわい・まちなか魅力づくり

- 近永駅周辺の再開発に取り組み、まちの顔となる中心部の魅力を高めます。
- まちの中核として、医療、消防、行政など公的機能の充実を図ります。
- 商業活性化、快適な居住環境の整備によりにぎわいを創出します。
- 雇用の創出のため、企業誘致や既存事業者が事業を拡大しやすい環境づくりに努めます。

やすらぎ・田園魅力づくり

- 優良農地の保全と耕作放棄地の解消に努めます。
- 美しい自然にマッチする農村景観の維持・向上を図ります。
- 農家民宿の開業支援など、グリーン・ツーリズムの促進を図ります。

いきいき・環境魅力づくり

- 森林の水源かん養機能や豊かな生態系の保持に努めます。
- 林業・木材産業の活性化を図り、森林資源の循環利用を促進します。
- 自然エネルギーの導入を検討し、大学などとの共同研究を進めます。

ふれあい・観光交流魅力づくり

- 成川渓谷、節安ふれあいの森、森の三角ぼうし、日吉夢産地、市民農園、農業公社、明星ヶ丘文化施設といった施設を核に、観光・交流拠点としての魅力向上に努めます。
- 国史跡等妙寺旧境内をはじめとする史跡や名勝の整備に努め、各施設を結ぶ観光ルートを設定し、遊歩道や自転車道の整備を進めます。
- スポーツ施設の整備改修を進め、町民のレクリエーションや健康増進、町外の人々との交流などに活かします。

第4章 基本目標・推進施策

施策体系図



Ⅳ 重点プロジェクト

第2期 鬼北町総合戦略

人口減少克服・地域活性化に
かかる施策

基本目標 1

豊かな地域資源を活かした基幹産
業の再生

－安心して働けるまち

基本目標 2

つながりを大切に、鬼北町へ新た
なひとの流れをつくる

－訪れたいまち、住みたいまち

基本目標 3

みんなの力で、結婚・出産・子育て
の希望をかなえる

－子どもにやさしいまち

基本目標 4

ともに支え合い、安心して暮らすこと
ができる持続可能な地域をつくる

－豊かで暮らしやすいまち

Ⅴ 推進施策

- 1-1 農業の振興
- 1-2 林業の振興
- 1-3 商工業の振興
- 1-4 観光・物産の振興
- 1-5 雇用の創出
- 1-6 女性の活躍推進

- 2-1 資源循環型社会の推進
- 2-2 環境保全の推進
- 2-3 グリーン・ツーリズムの推進
- 2-4 エネルギー対策の推進

- 3-1 地域保健・医療体制の充実
- 3-2 子育て支援策の充実
- 3-3 高齢者福祉の充実
- 3-4 障がい者福祉の充実
- 3-5 地域福祉の推進

- 4-1 防災・減災対策
- 4-2 情報基盤の整備・活用
- 4-3 都市計画の推進
- 4-4 交通環境の充実
- 4-5 空き家対策
- 4-6 住宅・公園の整備
- 4-7 上下水道の整備・保守
- 4-8 交通安全・防犯対策

- 5-1 学校教育の充実
- 5-2 生涯学習・生涯スポーツの充実
- 5-3 伝統文化の継承・発展
- 5-4 文化財の保護・活用
- 5-5 人権尊重・男女共同参画

- 6-1 町民による地域活動の活性化
- 6-2 効果的・効率的な行政運営

づくりー

ふれあい・観光
交流魅力づくり

特色ある産業を創り育てる

誰もが元気に働けるふるさとづくり

町の活力を維持し、若い人が住み続けるには、働く場があり、安定した収入が得られることが重要です。また、女性や高齢者を含め、あらゆる人がそれぞれの能力を発揮できるように、多様な業種、職種による雇用の創出が求められます。

農業の担い手不足の解消や、高付加価値化、高齢者にも取り組みやすい農作物の導入などに努めます。

中心部に魅力的な商業環境をつくり、にぎわいを創出するとともに、買い物弱者への対策を講じます。

やる気のある若手経営者が積極的に新規事業展開などに取り組めるよう支援します。

観光資源や特産品の開発、「食」の魅力アップなど、町外の人を引き付ける産業の振興に努めるとともに、大型イベントを盛り上げます。

「鬼」のイメージを活かした商品開発やイベントに取り組み、産業の活性化に取り組めます。

若者や女性を雇用したい町内事業所と、働きたい人とのマッチングを図るとともに、誰もが仕事と家庭の両立を図りながら能力を発揮できる職場環境の整備を支援します。

推進施策

1-1 農業の振興

1-2 林業の振興

1-3 商工業の振興

1-4 観光・物産の振興

1-5 雇用の創出

1-6 女性の活躍推進

基本目標
2

美しい自然を守り活かす

誰もが訪れたい、帰りたいと感じるふるさとづくり

美しい自然景観や田園の風景は、本町の大きな魅力の一つです。町民の高い環境意識のもと、これを守り次世代に継承していくとともに、資源循環型社会の先進地を目指します。

本町の宝である広見川流域の美しい水と緑に囲まれた里山の風景や、多様な生態系を守りながら、それらを活かした観光振興や環境への負荷が少ない社会の構築などに取り組み、豊かな地域の実現につなげます。

森林資源を計画的かつ有効に活用しながら、森林の荒廃を防ぎ、美しい森林の景観を保ちます。

大学などと連携し、再生可能エネルギーの活用技術の開発・導入を推進します。

推進施策

2-1 資源循環型社会の推進

2-2 環境保全の推進

2-3 グリーン・ツーリズムの推進

2-4 エネルギー対策の推進

基本目標
3

福祉の充実で安心生活を確保する

誰もが安心して暮らせるふるさとづくり

少子高齢化が急速に進むなか、すべての町民が安心して暮らしていくためには、社会保障、福祉政策による公助と、地域に暮らす人々がお互いに助け合う共助が両輪として機能していくことが重要です。

町立北宇和病院を中核に、各地域の診療所など地域医療の維持と質の向上を図ります。

また、安心して子どもを産み育てられるよう、子育て支援策の充実に努めます。

年齢や障がいの有無などにかかわらず、誰もが健康で自分らしい暮らしを実現できるよう、必要な福祉サービスを適切に提供していきます。

推進施策

3-1 地域保健・医療体制の充実

3-2 子育て支援策の充実

3-3 高齢者福祉の充実

3-4 障がい者福祉の充実

3-5 地域福祉の推進

基本目標
4

整った生活インフラで快適生活を守る 誰もが安全・快適に過ごせるふるさとづくり

本町は、自然の地形に恵まれ、これまで大きな自然災害による被害はそれほど多くありませんでした。しかし、地球規模の気候変動が続くなか、今後は、土砂災害や、南海トラフ巨大地震の被害に遭う可能性もあります。地域防災計画にもとづきさまざまな災害に備えるとともに、町民の意識啓発に努めます。

また、人口が減少していくなかで、時代に対応して安全・快適なまちづくりが重要です。デマンドタクシーや乗車券助成制度などを活用し、公共交通の維持と利便性の向上に努めます。

ICT 環境、上下水道、公園などの生活基盤を整備・維持し、快適で安全な暮らしの実現を目指します。

建築物への町産木材の利用を促し、空き家や老朽化した公共施設の実態を把握して、効果的な更新、再編を実施します。

町民の住環境への満足度を高めることはもとより、町外からも訪れたいくなる、さらには住みたいくなる環境を整備して、移住を促進します。

推進施策

4-1 防災・減災対策

4-2 情報基盤の整備・活用

4-3 都市計画の推進

4-4 交通環境の充実

4-5 空き家対策

4-6 住宅・公園の整備

4-7 上下水道の整備・保守

4-8 交通安全・防犯対策

基本目標
5

充実した教育環境で心豊かな人を育む 未来を担う子どもたちをみんなで育むふるさとづくり

未来を担う子どもたちが、豊かな感性を育み、確かな学力を身につけられるよう、家庭、学校、地域と連携して教育環境の充実に努めることが重要です。

教育分野においては、子どもたちの学力向上や情操教育の充実、また、広い視野や国際感覚を養うために、ICT の活用を促進します。

町民が芸術・文化活動やスポーツに親しみやすい環境づくりに努めます。

地域の歴史・伝統文化に触れ郷土愛を深めるとともに、地域の魅力を発信し、地域の誇りを未来へ継承していくため、積極的な活用を推進します。

性別や年齢、障がいの有無などにかかわらず、すべての人がお互いを尊重し合い、誰もがその人の持つ個性と能力を発揮できる社会の実現を促進します。

推進施策

5-1 学校教育の充実

5-2 生涯学習・生涯スポーツの充実

5-3 伝統文化の継承・発展

5-4 文化財の保護・活用

5-5 人権尊重・男女共同参画

基本目標
6

人々のつながりを深め、ともに行動する 誰もが自ら考え取り組むふるさとづくり

ふるさとをよりよい場所にするためには、町民自らが考え、互いに連携し、町の課題解決に取り組むことが重要です。行政は、町政に対する住民の理解と関心を高めるようわかりやすい情報提供に努めるとともに、住民の主体的な活動を支援します。

いろいろなキャリアを持つ人が、自分の力を地域のために活かすことでビジネスにつながるよう、ソーシャルビジネスの育成を図ります。

公民館や自治会、NPO 法人、ボランティア団体などの活動を支援し、住民との協働を進めることで、行財政運営のスリム化を図ります。また、さまざまな分野で町外の団体との地域間交流を深め、地域活動の活性化や広域連携を進めます。

推進施策

6-1 町民による地域活動の活性化

6-2 効果的・効率的な行財政運営